

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公表番号】特表2011-528636(P2011-528636A)

【公表日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-047

【出願番号】特願2011-518826(P2011-518826)

【国際特許分類】

B 6 0 Q 3/02 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 Q 3/02 D

B 6 0 Q 3/02 J

F 2 1 S 2/00 2 3 0

F 2 1 S 2/00 4 4 3

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月9日(2012.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体内に配置された側方光導体を含む点灯装置であって、前記支持体は前記光導体によって放射された光の通過のための細長い開口部を有し、前記支持体、前記光導体、又は、前記支持体及び前記光導体の両方は、少なくとも1つの接触縁部を提供するように成形されており、前記支持体と前記光導体との間の物理的係合のみが前記接触縁部に沿う、点灯装置。

【請求項2】

各接触縁部が2つの対応する相対的に傾斜した表面間に形成される、請求項1に記載の点灯装置。

【請求項3】

各接触縁部が前記支持体内で形成され、前記光導体が前記接触縁部によって係合されている少なくとも1つの位置決め機構を含む、請求項1又は2に記載の点灯装置。

【請求項4】

前記少なくとも1つの位置決め機構が前記光導体内の切り欠き領域によって形成される、請求項3に記載の点灯装置。

【請求項5】

前記光導体が、前記支持体内の前記細長い開口部の各側上に配置された2つの位置決め機構を含み、前記位置決め機構がそれぞれ少なくとも1つの対応する接触縁部によって係合される、請求項3又は4に記載の点灯装置。

【請求項6】

前記接触縁部が前記支持体内に前記光導体を保持する、請求項5に記載の点灯装置。

【請求項7】

各接触縁部が実質的に前記支持体の全長に沿って延びる、請求項6に記載の点灯装置。

【請求項8】

前記支持体の一部のみが前記支持体の全長に沿って連続的に延びる、請求項1～7のい

ずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記支持体が、概ねU型のチャネルの形態を有し、前記チャネルの壁部又はその部分のみが前記支持体の全長に沿って連続的に延びる、請求項8に記載の点灯装置。